

シクロヘキサン生産能力の増強について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、このたび、石油化学製品シクロヘキサンの需要増に対応するため、当社知多製油所(愛知県知多市)において同製品の生産能力を増強することいたしました。具体的には、約10億円を投じて年間生産能力10万トンのシクロヘキサン製造装置を来年5月の完成を目途に新設いたします。
2. シクロヘキサンは、ベンゼンを水素添加して製造される液体製品で、主にカプロラクタムやアジピン酸の製造原料として使用され、それら中間製品を経て最終的にはナイロンとして広く利用されています。ナイロンについては、自動車・家電・コンピュータ向け樹脂の需要が旺盛であることなどから、今後数年間、年率4~5%程度の成長が見込まれており、シクロヘキサンについても同様な需要の伸びが期待されております。
3. 現在、当社は、知多製油所において年間約12万トンのシクロヘキサンを生産しており、グループ会社の日鉱石油化学株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:山口千尋)を通じて、同製品を国内外に販売しております。能力増強後も、同社を通じて全量を販売する予定で、2005年度で22万トンの販売を目標としております。
4. なお、今回の新設により、知多製油所では、2基のシクロヘキサン製造装置で合計年間22万トンの生産能力を有することになります。これは、国内最大級であり、また、1つの生産拠点の生産能力としてはアジア最大となります。

以上